

第5回 研究会より

参加者 7人

今年度最後の研究会でした。今回は、保科さんから、研究主任を2年間務めてみての実践報告がありました。次に、石山さんが昨年9月愛知県の小学校を訪れたときの授業をカンファレンスいたしました。

1 保科さんプロデュース：研究主任として行った実践について。

まずは高橋の方から、4月の最初の職員会議における校内研究の提案は重要なこと。けれども、おおかた準備不足になりがちであること。だからこそ、今の時期に、いろいろ戦略を立てることの大切さの話があった。

保科さんの方からも、今の〇蔵小学校に異動になってすぐに研究主任になったこと。4月5日の職員会議では、それまでの〇蔵小学校の研究を踏襲しながらも、共同の学びについて提案したことが説明された。しかし、最初の提案の時点で、さまざまな質問が会議中出された。そこで、保科さんは、実際に自分の授業を見てもらうことにした。（異動してすぐに名前も知らない生徒だったが、授業を行ったそうだ。その時点で、すごい行動力だと思う。）

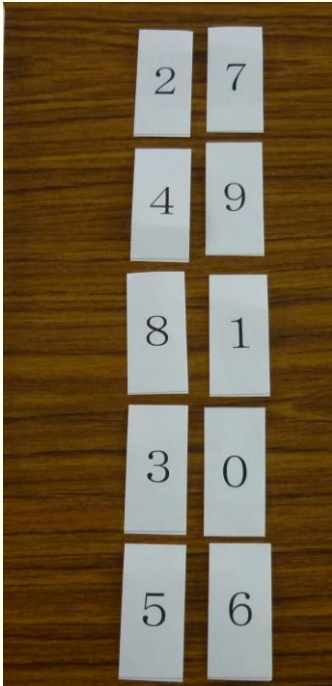
授業研究会は4月の2週目に行った。最初、どこの時間で授業をしても、全員が参観できないことから、1時間目に道徳、3時間目に算数の授業を行い。どちらかの授業を参観してもらうようにしたそうだ。（1日に2時間も授業を公開すること自体、並大抵ではない。）

次に、そのときに行った提案授業について、実際に本研究会に参加した人たちに体験を通して説明がなされた。

そのうちの算数の授業を報告する。

まずは参加者に0から9の10枚のカードが配られた。

提案授業の算数では、この10枚のカードを使って、九九の答えの2桁の数を作るという課題を小学校3年生に行ったことが説明された。実際に参加者は児童の行った学習活動を行ってみた。



0から9の10枚のカードを使い、九九のできる2桁の組み合わせは上の写真の通りとなる。授業では、最初に何の組み合わせから考えるかを児童に考えさせる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

上の表も児童に配られる。

児童は、27という解が1つしかないことに気づき、この組み合わせから考えることの大切さを発見する。次に1の位が9とか1とか、解の組み合わせが少ないことを根拠に思考していく。

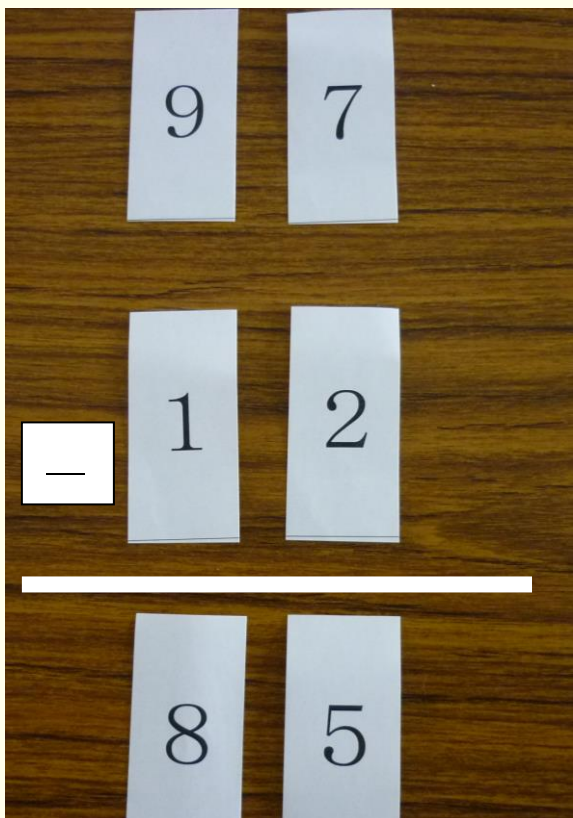
この授業は、正解が出た後に、どのように思考するとよいのかを、気づき発見する授業構造になっている。また、児童が言葉で説明するときに、10の位や1の位というような算数用語も使うことで、思考だけでなく他の数の概念も同時に定着するように配慮したとのこと。このような提案授業によって、この1年間の授業研究についてイメージを持ってもらった

そうである。

研究会では他に、応用編として、こんどは 10 枚のうち、6 枚のカードを使って

$$\begin{array}{r} \text{〇〇} \\ -\text{〇〇} \\ \hline \text{〇〇} \end{array}$$

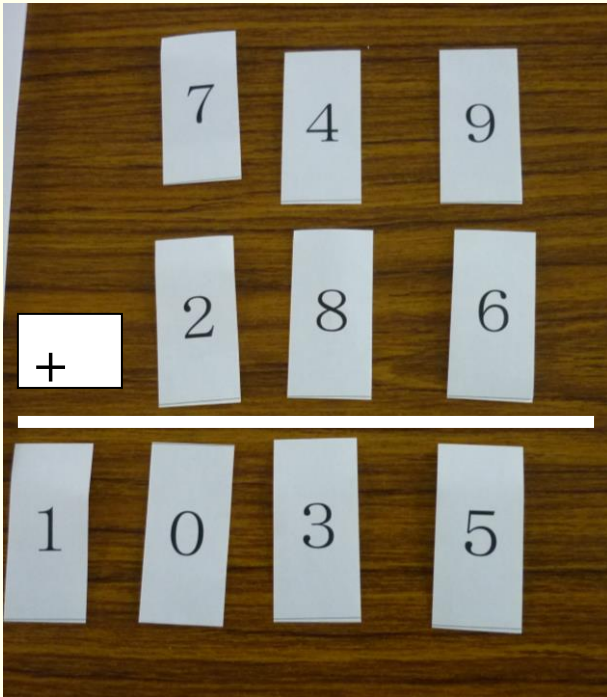
この筆算の解が最大となるのはどのような組み合わせか？という課題もできる。



上が正解の組み合わせ。

ただ「最大の数と最小の数」という思考では、解が出ない。(同じカードは 2 回使えないからである) まずは 10 の位の最大を考え、1 の位の最大を考えることになる。差の解から考えるという、新しい思考回路を生むことになりそうだ。

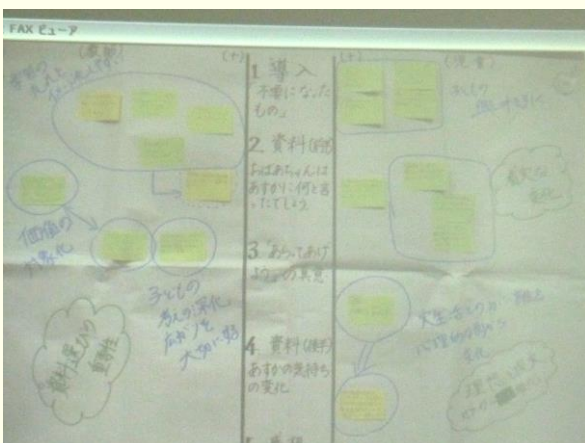
さらに 3 桁の数+3 桁の数=4 桁の数という課題も考えたそうだ。



この解はひとつだけではない。ただ、解には必ずどこかの位に 0 が入るとというのが思考のポイントであろう。

とにかく、実物の操作を通して、学びあいを行わせるという提案によって、研究の方向性を考えてもらったという実践報告だった。

他に、授業研究会の後の協議会の持ち方として、付箋を利用しながら、最初は時系列に付箋を貼ってもらったが、その後、座標軸の形で、横軸に教師の活動、縦軸に児童の活動で、付箋を貼りながら、グループディスカッションを行った工夫も紹介された。



時系列での付箋による授業分析



座標軸による授業分析

今後に向けては、授業の振り返りが大切。また、授業研究は年々新しいことにトライするのではなく、同じことを継続することの方が大切であることなどが報告された。

(質疑応答より)

- ・ 来年度も4月に授業研究を行うという話があったが、本研究会のブログなどで、いつにどの学校で誰が授業研究を行うのかを掲載して欲しい。そうすれば、その授業を参観したい人はできるようになるだろう。→来年度はそのような情報も集めて、ブログに掲載してみたい。
- ・ 自分は3年間授業研究会をやってみて限界を感じた。その限界は、もっと教材研究を深めなくてはいけないということ。ただ、学びあいを目指すだけでなく、それを裏打ちされた教材研究も、研究としては大切。
- ・ 授業をもっと開くために、“勝手に授業研究”という週間を設けて実践している。ただ、それだけではまだまだ足りない。そのため、自分の授業を開く日時を書いたチラシを作って配ったりしている。
- ・ 本研究によって学力が向上するかどうかは逃げずに答えるようにしたい。やはり数値で判断できるようにしたい。数値的にあがるということも本研究を行う大きな意味となる。
- ・ 年間がんばっても、小学校では10回が限度だった。全員が参観する全体授業研究会だけでなく、その他の学年ごとや教科ごとなど、ビデオだけの授業研究会などで回数を増やしてみたい。

次に、高橋の方からM中で4月の職員会議で提案した[校内研究ガイドブック](#)について簡単に説明があった。

2 ビデオカンファレンス (海のいのち)



この授業の特徴は、教師がほとんど発問していないこと。課題は生徒の話し合いから作り上げている。また、一斉音読→ひとり学習→3人グループでの討議→全体討議→途中グループ討議に戻して→再び全体討議という縦横無尽に学習スタイルが変化している。児童一人ひとり真剣に考え、グループディスカッションは発表ではなく、対話の構造になっている。全体討議では、随所に「もう一度言って」とか「どこからそう思うの」という質問が飛んでいる。その間、教師はほとんど議論をコントロールしていない。すばらしい雰囲気の中での学習だったことが一目瞭然であった。

(参加者からの意見発表から)

- ・ 課題はいったいなんだったのだろう→たぶん教師は課題を絞り込んではいない。この場面で気になったこととか、みんなで考えてみたいことの程度だったと思う。
- ・ 最初は、児童の発言が繋がっていてすごいと思ったが、よくよく聞くと、深まりという点からはもうひとつだったのではないか。
- ・ どうして、クエを殺さなかったのか、殺せなかったのかそこが重要だった。教師の出はやはり、ある程度あることが大切だったのでは。
- ・ おだやかな（クエ）の目は、お父うの目ではなかったかと発言した児童がポイント。この発問をもうすこし児童に戻しながら深めたい。そのためにもやはり教師は教材研究によって、どんなボールを児童が投げても受け止めるだけのストライクゾーンを広げることが大切だろう。
- ・ この話は、いのちのつながりがテーマだと思う。だから、やはりクエの目が父の目に見えたのは重要、他の場面でも目の色について随所に書かれている。そこにこだわった議論を行えば、本字の場面を超えた全体の場面に思考が向かったのではないか。すれば、いのちのつながりという大きなテーマに近づくと思う。
- ・ このような授業を小学校が行うとすると、中学校はどのような授業を提供しなくてはならないか。もっと思考の深さを要求されるだろう。今日の授業のような授業が地区全体で行われることが目指したい。

来年度の研究会の提案

※プロデュース制を採用したい。

プロデュース制とは？

その回の会の企画や運営全般を自由に行っていく制度と思ってください。もちろん、その回
の前半の部分のみでも結構ですし、ビデオカンファレンスで使う映像を持ってくるのでも
構いません。ワークショップ形式でもよいです。自分の悩みについて、討論するということ
もできます。できる限り個人でお願いしたい。サポートは高橋晋が行います。どうぞ自分で
やってみたいことや、プレゼンしたいことなどを自由に行ってください。

この月のプロデューサーになりたいという方は、ブログの方でメールください。無い場合は、
4月の中旬に私の方から強制的に提案させていただきます。もちろん、できない場合はご連絡
ください。

	予定実施日	プロデューサー（案）	備考
1	5月19日（土）	高橋晋（懇親会あり）	13 駅伝、27 小運動会？
2	6月30日（土）	？	16 中総体前、23 中総体後
3	7月14日（土）	？	21 県中総体、30 教育課程
4	8月4日（土）	？	1 地区教研、25～新庄祭り
5	9月1日（土）	？	22 地区新人前、29 新人地区陸上
6	10月13日（土）	？	20 北ブロック、27 文化祭？
7	11月17日（土）	？	3 文化の日、10 新庄教育の日
8	12月8日（土）	？	18 三者面談？23 クリスマス
9	1月26日（土）	？	
10	2月23日（土）	研究発表会	16 スキー大会、
11	3月23日（土）	研究発表会	16 中卒業式、25 小卒業式

※1年間で何か研究をしてみましよう。この単元で1つ工夫したこと。長年思っていたこと
を実践してみた。公開研に参加して学んだ。教材を開発してみた。何か1つ、この1年でが
んばることを設定し、それを2月か3月に発表会しましょう。

※会費について

昨年10月より、2000円徴収しました。実質5回の研究会でだいたい、27000円程度使用
しました。（多くはゆめりあ会議室と印刷インク代、会議費です。）1回あたり平均すると
5400円です。11回の予定ですと、59400円となり、会員20名から3000円を頂くとなん
とか収まると思います。

そこで、平成 24 年度の会費は 3000 円で検討していただきたく思います。

※新しい会員も募集中です。大いに誘ってください。また、ブログをご覧になっていない会員の方もいるようです。4月の会議などで、会う機会がありましたらお互いに確認しましょう。



[戻る](#)